

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月23日	作成者名	佐藤 健治	評価者名	吉野 博司
-----	------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	04 緑と潤いのあるまち	中心となる課	環境経済部・みどり公園課
分野	01 緑地・緑化	関係課	
施策	39 緑地・緑道の整備促進		
施策の目的	市民が緑と潤いのある環境の中で生活できるよう、地域の植生を活かした公園の緑地・緑道などの空間を整備し、身近な場所で、市民の誰もが気軽に集い、憩える場所を整えます。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	環境空間暫定整備事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
新規公園の整備件数	新規公園の整備件数 (環境空間を含む公園等の整備件数)	件	4	0	1	0	2		
環境空間の有効活用率	環境空間の有効活用率 (戸田市・JR東日本による活用率)	%	67.27	64.68	67.24	67.24	68.64		
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	平成30年度末の環境空間整備事業の進捗率は、東日本旅客鉄道株式会社の有効活用箇所、モデル整備地区としての緑地・緑道及び市の本整備区域などの合計が68.64%に達している。 残り31.36%の主な箇所は、新曽第一・第二土地区画整理事業地の造成後に整備する箇所、平成31年度に整備を予定している戸田1、東日本旅客鉄道株式会社が有効活用する箇所である。 なお、本事業は、その進展が他事業の進展に左右されるため計画が行いにくいことや、施設整備後に必要な維持管理費の確保が課題となっている。	対応策	他事業の進捗状況を注視していく。施設整備後の維持管理については、市民参画を含めた維持管理の方法や経費抑制等の検討を進めていく。
----	--	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	新規に2公園を整備し緑地が整備された。また、平成31年度の新規整備に向け、詳細設計業務を実施した。環境空間は、東日本旅客鉄道株式会社により認可保育園を開園し、全体の68.64%が有効活用され目標値を達成した。
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	環境空間の課題として、連続した緑地・緑道の確保とともに、東日本旅客鉄道株式会社が実施する環境空間有効活用の企業誘致についても、地域の課題解消に寄与できるような業種が望まれることから、現状を維持しながら事業を継続していく。

(評価者コメント)

川岸地区の(戸田1)2,686㎡については、令和元年度の整備が見込まれており、整備後、市民参画を含む維持管理方法を検討して経費抑制を図ること。
